

## 久喜市の梨 出荷量

| 年度    | 出荷量(トン) |
|-------|---------|
| 平成30年 | 548.3   |
| 平成29年 | 629.3   |
| 平成28年 | 665.9   |
| 平成27年 | 670.9   |
| 平成26年 | 768.4   |
| 平成25年 | 955.5   |
| 平成24年 | 816.1   |
| 平成23年 | 991.5   |
| 平成22年 | 808.0   |
| 平成21年 | 1,192.8 |

## 地区別の被害状況

| 地区   | 被害面積    | 被害実戸数 | 被害金額    |
|------|---------|-------|---------|
| 久喜地区 | 5.28ha  | 20戸   | 1,605万円 |
| 菖蒲地区 | 5.64ha  | 20戸   | 2,701万円 |
| 合計   | 10.92ha | 40戸   | 4,306万円 |

5月4日 久喜・菖蒲地区において雹（ひょう）が降り、わずか30分足らずの時間でしたが、空に向かって育っている梨に大きな被害が発生しました。

今、摘果作業中で、被害が出た品種は、幸水・豊水・採玉などです。

**被害が出た地域**

**久喜地区** 原、除堀、樋ノ口、太田袋、北青柳、下早見

**菖蒲地区** 柴山枝郷、下栢間、上大崎



大事に育てた梨が・・・

## 被害農家を訪問！

議員団では、被害を受けた農家を訪問してきました。被害を受けた農家の方は「雹を防ぐネットを注文してあったけれども、納品が間に合わずくやしい思いだ。これでまた、梨農家の多くが止めてしまうことになるだろう。」

「ここ数年梨を栽培する農家が減り30軒あったのが今は5軒ぐらい。雹の被害を受け、梨農家が減れば、市場に梨を出す人もなくなり、市場そのものがなくなるのでは」との懸念も語られました。



雹で傷ついた実を確認する渡辺議員

## 生産が続けられる支援を

「雹被害にあった梨は、『えくぼ梨』として販売されます、ぜひ買ってほしい」との要望もいただきました。

埼玉県の実業内容は、消毒など補完的なもののみで、梨栽培を継続できるほどの助成ではありません。

議員団は、久喜市のブランド品である梨が継続して営農できるように大胆な支援策が必要と考えています。

降雹被害はここ数年頻繁に発生していることを考えると、ネット購入などへの支援は必須です。ネットを設置するのに200万円はかかるということです。

今後は被害状況に応じた、有効な支援策が必要です。

## 新学校給食センターのスケジュール見直しへ

市は学校給食センター整備工事修正設計を行い、建設工事費の積算と、整備スケジュールの確認を行ったところ、工事期間を延長する必要が生じたと発表しました。

原因は本体建設工事で使用する鉄骨と「高力ボルト」の納期遅延の影響によるもので、本市の学校給食センターの建設工事のみならず、全国的な事象とこのことです。

### 変更内容

（当初計画）工事の契約議案の上程、議決を11月議会、

工事着工は来年1月、

工事完了は再来年6月

（見直し後は）

工事の契約議案の上程、議決を6月議会

で、工事着工は本年9月で、

工事完了は再来年7月

＊工事完成が令和3年6月から、令和3年7月になるが、提供開始時期の令和3年8月に変更はない、としています。

## 石田としはる

6月10日（月）2番目



1. 済生会栗橋病院移転を済生会病院の組織内でも確定した。今後、現在地での地域医療確保に向けての取り組み、済生会病院の取り組みなどを問う。
2. 公共交通の充実を引き続き求めます。30分前でも予約としているが、実際は予約が難しく改善を求める。菖蒲地域から新久喜総合に行くときは600円で2倍の料金引き下げを求める。
3. 液状化対策推進事業 南栗橋の舗装修繕工事が実施される。地元事業者の活用を求める。
4. 住民福祉の向上をめざし、国民健康保険税の引き下げを求める。「均等割」の廃止、その中でも子どもへの「均等割」の減額を求める。県は「標準保険料」を示し、6年間で従うよう指導している。市は今年度「基金」を取り崩し対応した。国保税の値上げは許されない、今後の久喜市の対応問う。
5. 佐間・八甫線 市道栗橋680号線の安全対策。阿佐間・幸手線、接続部分の「角きり部分」を拡張して安全対策を進めることを求める。
6. 消費税増税10月実施は中止される可能性があり、市の準備行為は慎重に進めることを求める。

## 平間ますみ

6月10日（月）3番目



### 1. 補聴器購入条件の緩和を

高齢者の方々に、難聴に苦しむ方が増え、「補聴器を購入したいが金額的に高すぎる」という声をよく伺う。成人に対する購入条件を緩和し、多くの方に安全な生活を送っていただく対応をすべきではないか。見解を伺う。

### 2. 市内小中学校トイレの洋式化推進について

喫緊の課題と理解し、3年から5年以内にトイレ洋式化率を80%にするとしているが、対応・計画が遅れる可能性の高い大規模改造の中で取り組むのではなく、単独の事業として取り組むべきである。考えを伺う。

### 3. 歩行者の安全強化対策の取り組みを

大津市で、散歩中の保育園児の列に車が突っ込み、園児ら16人が死傷した事故を受け、久喜市も市内の道路の調査、安全対策に支給取り組む必要があるがいかにか。

### 4. 青毛堀川河川敷に手すりの設置を

青葉さくら通りは毎年花見でにぎわいます。高田橋傍にある河川敷へ下りる階段に手すりの設置を求める。

## 6月議会で全員が一般質問します

名前の下は各議員の一般質問の予定です

## 杉野おさむ

6月7日（金）6番目



### 1. 鷺宮運動広場のトイレ設置を早く

今年度の梅田市長の所信表明でも実施することが公表されたが、設置の動きが見られない。速やかな着手を

2. 「振り込め詐欺」に遭い、高齢者に被害が多く出ている。詐欺の対策に有効な「電話録音機」の購入に市の補助を求める。多くの市町村でも始めている。（先進例では、費用の2分の1、上限5千円から1万円が多い）

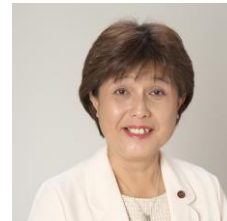
3. 若者定住・移住促進策を本格的に実施が求められる人口が減少し、特に子育て世代の転出は課題である。多くの市町村でも若者に対する支援策を行っている。（例えば、家賃の補助、土地・家屋の提供、給食費の無償化など）しかし、真に有効な手立てを打つためにも久喜市の若者世代にアンケートをとるなどし、久喜市にふさわしい支援策を構築するべきではないか。

4. 「レオパレス21」の法令違反事件で、久喜市での実態と今後の建築確認検査の改善策を伺う。

いま民間の検査センターでの検査が多いが、法令違反（火災時に炎症を防ぐ「界壁」が無い）をなぜ見落としたのか。また、改善策は県や民間とも協議して作成を。

## 渡辺まさよ

6月10日（月）1番目



1. 今年4月からレッドウッド社の物流センターが営業開始され、近隣住民が騒音で悩まされている。早朝や、深夜2時までの搬入やアイドリングなど改善をすべきであり、市は被害住民に寄り添う対応をすべきではないか。
2. 乳幼児とその保護者が小中学校に訪問するふれあい授業活動にこども未来課も応援をしてほしい。共同して子育てを支える、支援体制が必要と考える。
3. たばこポイ捨ての看板を製作してクリーンな久喜市を目指すべきでは。
4. 菖蒲南中学校の統廃合については、地域振興を含めた話し合いをどうすすめるのか。
5. 保育の無償化について、認可外保育施設の基準の問題、給食費の個人負担の問題、財源となる地方交付税措置の問題はどうなったか。
6. 降雹被害にあった梨農家に、市の的確な支援の実施を求める。
7. 市民課総合窓口の待ち時間が長い、解消を進めるべき。